

露

(郷里阿蘇にて)

菅 第 六

瀧水の乏しきに住む子蟹かな
草の葉を噛みつゝ山を登りけり
山門をくゞれば赤し百日紅
午告げヒルに來て麥打を見る子かな
眞菰刈るや沼涉り行く大鼠
一つ一つ星の消え行く芒原
露の野に明けの明星光りけり
露に上る日を近々と拜しけり

露の日に草食む牛を數へけり

初嵐真菰にすがる蜻蛉かな

初嵐雨雲日雲吹き分けし

垣普請の竹割る音や秋晴るる

麥干すや鶏追ひて走る猫

堰水の渦に子芋の踊りけり

鶴遊ぶ邊り實彈く鳳仙花

施餓鬼會や貰ひ集めし小提灯

施餓鬼やんで籠馬の又鳴き増へし

雜草ワザカサや施餓鬼の僧ソウの袈裟ケサ衣コロモ